

●親睦活動委員会 ★ニコニコボックス報告

成田会員 ~ 御長男の結婚を祝して 吉井会員 ~ ゴルフ大会で優勝して

●社会奉仕委員会

本日の例会に松川、宮前、八幡、梁川、大縄、吉川、白鳥、亀田、上磯町の代表者を招き、交通安全の歩行杖の贈呈がおこなわれました。長寿国の仲間入をしている日本において、この種の杖を必要とする人がますます増える傾向にあります。今後もこの様な事を段階的に続けると良いと思われまます。

●プログラム 映画「エベレスト登山」 NHK 提供

努力と忍耐の二つの言葉を思い出させる感動的な映画でした。

★函館北ロータリークラブ様 昭和48年5月14日 次期地区幹事 山田 功

拝啓 時下益々御清祥のこととおよろこび申し上げます。

さて、只今国際協議会を終えて、ローザンヌの国際大会に出席中の柿本ガバナーエレクトから1973-74年度R.I. 会長 William L. Carter 氏のターゲットが送られて参りましたので全文をお知らせ致します。何かのお役に立ったら幸甚です。

R.I. 会長 William L. Carter ターゲット A TIME FOR ACTION

「今こそ 行動のとき」

昨年度「もう一度見直そう」をテーマにして、お互いに研究したわれわれは、ある幾つかの真実を悟ったのであります。そこで今年は「今こそ行動のとき」をテーマに、私にご協力下さるよう皆さんにお願い致します。まず、われわれの悟った真実を次の四つの方法によって行動に移そうではありませんか。

クラブ会員としての質の向上をはかる 今年度は同僚会員が助け合い、その潜在力を十分に発揮して、より充実した豊かな人生を送るように真剣に努力する。

社会人としての質の向上をはかる 孤独に悩む若者や老人の要望するものを見極めて、それを充たす。住むため、働くための環境をよりよくすることを市やその他の当局とはかり、できればその実行に協力する。

職業人としての質の向上をはかる あなたの同業者になによりも完璧なサービスやよい製品の提供を最優先するよう説得するために最善の努力を注ぐ—正当な報いはおのづから伴うものとして。

国際人としての質の向上をはかる あらゆる困難を挑して世界中のロータリアンとロータリー独特の交信によるつながりを維持する。そして援助を必要とする人びとを慰問し救済する。

皆さん、お互いの間を隔てるものを捜さないで、われわれが共通に持っているものを捜し求めようではありませんか。

●出席報告

	会員数	出席人数	欠席人数	他クラブ出席人数	出席率(%)
48. 5. 30	55名	43名	12名		
48. 5. 23	53名	38名	15名	13名	96.23%
在函クラブ	(5/15) 函館東R.C. 98.92%		(5/17) 函館R.C. 93.73%	(5/18) 函館五稜郭R.C. 100%	

★第450回例会欠席者

深瀬、飯田、岩塚、森(正)、川村、広瀬、山本、小笠原、沢村、布目、山内(文)、石橋

次回例会日 6月13日

プログラム 卓話「最近のセメント事情」 大島 寅二郎会員

The Weekly Report of Hakodate North R.C.

事務所

函館市大手町5-10

日魯ビル3階

☎.(0138) 23-3870



例会場 函館市大手町5-10

国際ホテル TEL (0138) 23-8751

例会日 毎週水曜日 12:30-13:30

1973. 6. 13

第452回 例会

'972~1973 第48号

Let's take a new look もう一度見直そう

(Roy D. Hickman R.I. 会長指針)



(深瀬鴻一郎会員)

本日のプログラム

卓話「最近のセメント事情」

大嶋 寅二郎 会員

第451回 例会記録

●司 会 市川 芳夫 会長

●齊 唱 君が代・奉仕の理想

●ゲ ス ト 大沼 文雄氏 (函館R.C.)

●ビ ジ タ ー 函 館R.C. 四倉 太郎君 他9名
函館東R.C. 田辺 和夫君 他6名
函館五R.C. 山形 道文君 他5名
亀 田R.C. 高木 幹雄君

◎会長報告

①先般2・3日と札幌にて地区協議会が開催されましたが、総数487名の出席でありました。この協議会は、ロータリー二大事業の一つであり、主に次年度の会長・幹事・各クラブ奉仕委員会の委員長を一同に集め、奉仕活動についての教育の場であり、その他クラブでは、出席義務者以外の会員も自由参加と云う形で多数出席しておりましたが、確にこの勉強会は、ロータリーの奉仕活動に於けるいろんな分野、あるいは角度から講義と討論があり、ロータリアンの知識向上の場でした。出席義務者だけでなく、出来ることなら会員全員がこのような機会に出席し勉強したならば、これに優るものはないのではないかと思います。

②山本克己会員が、此の度八王子一西R.C.を訪門されバナーを交換して参りましたので回覧致します。

◎幹事報告

①会長よりお話ありましたように、札幌に於ける地区協議会には当クラブからは8名の出席でありましたが、大変味のある勉強会でした。私は次期青少年担当でありますので懸命に講義を受け質問し勉強して参りました。

②来る6月13日、本年度最終クラブアッセンブリーを開催したいと考えております。今のところ、場所・時間は未定であります。決定次第お知らせ致しますので準備下さいように。

◎親睦活動委員会

★ニコニコボックス報告

6月誕生記念～柴田・沢村・吉井各会員おめでとうございます
6月結婚記念～柴田・大嶋・角谷・杉本・大江・深瀬各会員おめでとうございます
6月入会記念～杉本・戸栗・深瀬・成沢・野村・成田・青柳・新・飯田・神原・森(正)小笠原・山内(一) 13名の各会員であります。おめでとうございます。
大井会員～プログラム委員会の長として本年度例会もあと3回となり、プログラム予定の手配も万全一安心と云うことで。
吉井会員～地区協議会親睦ゴルフ大会(於：札幌・輪厚コース)入賞を記念して。

★新入会員御紹介

とざき こうじ
戸崎 孝二君

- 1、職業分類 印判製造
- 2、勤務先及職名 戸崎印判店・亀田店々主
- 3、勤務先住所 函館市亀田町2番8号



推薦者
(吉井政嗣会員)

- 4、自宅住所 同上 TEL41～4345
- 5、生年月日 昭和11年3月1日生
- 6、最終学歴 慶応義塾大学(経済学部)3年中退
- 7、ご夫人 戸崎 薫 昭和17年4月18日生
- 8、ご家族
長女 歩 昭和43年3月21日生 藤幼稚園
長男 孝洋 昭和44年9月10日生 藤幼稚園
母 志な 明治34年12月10日生
- 9、ご結婚 昭和42年3月21日
- 10、趣味 ボーリング・読書・音楽観賞

1973～1974 国際ロータリー

●カーター会長のターゲット

今こそ行動のとき
“A Time for Action”

★新入会員御紹介

まつもと おさむ
松本 修君



- 1、職業分類 自動車修理
- 2、勤務先及職名 KK函館レーシングメイト 取締役専務
- 3、勤務先住所 函館市吉川町1-5 TEL41-3469
- 4、自宅住所 亀田市赤川通り36-32 TEL46-0569
- 5、生年月日 昭和12年10月15日生
- 6、最終学歴 青山学院大学経済学部卒
- 7、ご夫人 松本 峰子 昭和15年2月21日生
- 8、ご家族
長女 恵子 昭和42年10月11日生 藤幼稚園
次女 裕子 昭和45年5月24日生
- 9、ご結婚 昭和40年6月27日
- 10、趣味 将棋(2段)・社交ダンス・マージャン・つり・スポーツ観戦

●卓・話 函館R.C.会員大沼 文雄君より「裁判官生活の思い出」と題し、非常にユーモアにあふれた楽しい話をいただき、時間のたつのをわすれた。会員のうちより、是非この思い出話の第2部をお聞かせ願いたいものと声があった。

●カーター会長の略歴

William C. Cater

出生地 英国ランカシア州 フリクストン
所属クラブ 英国ロンドン・バターシーロータリークラブ
ロータリー歴 1949年バターシーロータリークラブに入会、以来同クラブの会長、地区ガバナー、委員会委員長及び委員等を歴任。国際ロータリーに於いて第一副会長、理事、理事会執行委員会委員長、ロータリー財団管理委員及び1970年度規定審議会議長を務めた。
1963～64年にグレート・ブリテン及びアイルランドの国際ロータリーの会長に就任。
職歴 現在ロンドンにて法律事務所の共同経営者である。

●カーター会長の挨拶

我々の悟った真実を次の方法によって行動に移そうではありませんか。

- 1、クラブ会員としての質の向上を図る
- 2、社会人としての質の向上を図る
- 3、職業人としての質の向上を図る
- 4、国際人としての質の向上を図る

皆さん、お互いの間を隔てるものを捜さないで、我々が共通に持っているものを捜し求めようではありませんか。

●1973～1974国際ロータリー

第351地区ガバナーの紹介

柿本 恒一

出生地 岩見沢市 生年月日 大正7年10月21日生
所属クラブ 岩見沢ロータリークラブ
職業分類 シニアアクチブ(金物販売)
ロータリー歴
昭和29年6月～岩見沢ロータリークラブ・チャーターメンバー
昭和31年7月～33年6月一同 幹事(3代・4代)
昭和38年7月～39年6月一同 第10代会長
昭和45年7月～46年6月一同地区ロータリー財団奨学生委員会委員

昭和46年7月～47年6月一同北海道ロータリー奨学会委員会委員
昭和47年7月～48年6月一同地区諮問委員会委員
地区世界社会奉仕委員会委員
立法案地区検討委員会委員長

共に奉仕するわれわれの年度

ガバナー・エレクト 柿本 恒一

ウィリアムC.カーター次期会長は講演の最初に「ここに招かれて準備し、指導を受ける特権と幸運は、私が皆さんと共にするものであります。皆様と私は肩を組んで一団となり、1973～74年度に於てロータリーのため効果的な指導力を発揮すべき任務を帯びて前進するのであります。何という挑戦でありましょう。指導を受け、指示を求め、互に励まし世界的規模の親睦を享受するためここで提供された時間は一瞬たりとも無駄にすることを考えてはならない。皆様も私と同じ考えになることでありましょう。もし我々がこの貴重な時間を少しでも無駄にするならば我々をここに送った人々に我々の指導に一任した人々の信頼を裏切る事になるのであります」と話されましたが、これは本日の地区協議会に出席しております私共への言葉として受止めるべきではないでしょうかそして次の様に続けられました。

ロイ会長の「もう一度見直そう」そして行動しよう。という目標は、ロータリー70年の変遷に如何にロータリーは効果的に対応してきたかを反省しようと提案されたのであります。今世紀の初期とは全く様相を異にする大進歩という大変革のあった70年代に対処する為に、ロータリーはどうしたらよいかを考えることを求めたのであります。

「もう一度見直そう」と呼びかけに対してクラブも地区もよく応えたと思います。世界中の多くのクラブとそれを構成するロータリアンは数多く、そして世界各地で自らの社会に対する役割について、より一層認識を深めました。ロータリアンはロータリーの綱領について常に考え反省を深めることによって、超我の奉仕の真意に対して考え続けて来ました。「正義とは行動する真実である」とフランスの哲学者が言った様に、ロイ会長の下で、もう一度見直しつつ一年を経過しました。そうして幾多の事実を発見し悟って来ました。1973～74年度に於ける私のターゲットを求めるに当り、当初からロータリアン諸君に対して方向の転換を求むべきではないと決めておりました。そして殆んど終ろうとしているこの年度の経験から、直接にターゲットを引き出すことにしました。それは個人のロータリアンの自己完成に対して円滑な継続性を提供することを意図し更に真実と認めたものを実行に移す上に手助けとなることに念願して定めたものであります。

“今こそ行動のとき”というターゲットの主題の中に、私は皆さんと共にロータリー綱領の正しい解釈は、人間の生活の質に対する個々のロータリアンこの厳しい関心を示すものである。という思想を成長させる様努力を尽したいと考えます。

ロータリーは世界的権力として形造られたものでなく、又その様に動こうとしても絶対に出来るものではありません。ロータリーは政府や国民に対して反対の氣勢をあげたり、人類の闘争と不幸に終結をもたらすことが出来るなどは毛頭考えることは出来ません。しかしながら、闘争が終り、不幸が一時的にでも和らげられたときは、75万のロータリアン達は我々よりも不幸な立場にある人々の生活を向上させる上に貢献することが出来るのであります。

と、たんたんとして然し力強く話されました。誠に一言半句もおろそかに出来ない素晴らしい意味を溢れさせた言葉である、と感銘を深くし、こんな立派な人格者の指導を得て、この一年を奉仕する我々ロータリアンのしあわせと思ったのであります。

更に午後の閉会の辞の中で次の様に続けられました。

ロータリアン一人一人 仲間である人類の生活の質を向上するため、飽くまで関心をもちことである。

まず生活の質とは何であるか、その疑問にお答えしましょう。

我々が共に生き、共に働くこの世界どこの市民に関してもその生活の質を向上するということは、その人が持つ潜在的な生活力をいっばいに発揮出来る方法を提供することである。今日何千万という人が明暗交々或は真暗な生活を送っています。それも貧困によるものばかりではありません。恵まれざる人々という世界の大問題は、不幸にして解決のきざしすら見えないままに、貧困と飢餓は、ロータリーや同じような目的を持つ団体に支持される特定の機関の心配事でありませぬ。その外にも環境に押し曲げられた幾多の生活が浮かびます。それを引上げるためにロータリーは直接手を下さずとも触媒として特異な役割を演じられるのではないのでしょうか。ロータリーは何百万の人々の生活の質を一夜にして向上させることは出来ませぬ。しかし、我々ロータリアンは、少くとも四大奉仕部門に沿い固い決意を以てスタートを切る事は出来ませぬ。

この努力を直ちに行動に移すことを皆さんにおすすめる私の方法であります。

●先ず第一にクラブ奉仕であります。クラブ奉仕は色々な面から成り立っています。秩序あるクラブは、その会員全部の質を向上させます。それは2つの分野に於てであります。親睦と会員増強であり、内気な会員に対しては理解をこめて語りかけ、自己の才能を超我的奉仕に活かすように勇気づけるならば、彼が夢みしたこともない才能を開くことが出来ます。やさしく呼びかけることによって、同僚の会員を立派な男に、そして完全なロータリアンに作り上げることが出来るのであります。彼の生活の質は想像以上に向上されることでありませぬ。又立派にロータリアンたる資格を持ちながら未だ入会せず、呼びかけを待っている人についても同様であります。こうした人を見つけましょう。そして職業分類が空いていたら入会させましょう。こうした人が入会すればその人のみならず皆さんの生活も向上します。

●社会奉仕については、貧しい人々に対するクリスマスその他の贈物がどんなに望ましいものであったとしても、私の考えていることは単にそれに限られているものではありません、むしろ私は若い人達のための活動、例えばインターアクト、ローターアクト特に孤独な立場にある若い人達のためにする活動に参加することを考えているのであります。青少年時代は非常に淋しい時があります。我々の青少年が早い時期に花を咲かすよ

うに手を貸してやろうではありませんか、そして老人の孤独さも救ってあげようではありませんか。

汚染はようやく真剣に取りあげられるようになりました。我々が受けついで自然の財産を守る為には、更に多くの事がなされねばなりません。徹底的な改造によって市民生活の質の向上は今日現在でも出来ます。

1974年の国際大会に於て、この分野に於て現在進行中で、この1年間に完成が望まれている計画をごらんにいれるよう祈っております。もしそれが実現すれば、参加者は都市事情の改善の前と後の2つの姿を眼にすることができ、それを如何にして行なうかという技術は世界中のロータリークラブに伝えられることとなります。

●次に職業奉仕については、非常に個人的な問題であります。しかし我々ロータリアンにとっては極めて重要な関心事であります。職業奉仕を計画的に取りあげているのはロータリー以外にありません。今日では設計図に手をつける前に「儲けはいくらか」が問題にされます。その昔、職人気質で最高の品物を作り最高のサービスを提供して、しかも適当な報酬で満足した時代に存在したその心を我々はとりもどすことは出来ないでしょうか。現代の生産規模にあつては、それを求むべきもない、という人が殆んどでありませぬ。それは為すところなくじつとしておれという事でしょうか。それはロータリーを創設した時のポール・ハリスの思想でありませぬでした。それは米国が正に大戦に巻き込まれようとしている時にロータリー財団の構想を夢見たアーチランプの思想でもありません。しかし、こうした夢は実現しました。我々はより高い質の生活を、産業にも貿易にももたらして、たとえ重役にはなれなくとも、より充実した生活を送れるようにすることを断念してはなりません。

●最後に国際奉仕ですが、信頼出来る情報によれば国際ロータリーは何れの国がその大使館、領事館を通じて持つ窓口より多くの窓口を持っているとのことであります。

この様な巾広いロータリークラブが、国際理解と生活向上に貢献している事は勿論でその存在その存在は地元にとっても利益となることは当然であります。又これには世界社会奉仕という道もあります。インドのランチロータリークラブとウエールズのリスカロータリークラブが協力しての奉仕で、インド全地域に亘って以前は2年に1度、しかも僅かしかなかった収獲をたった2年の間に豊かな2毛作に変えてしまった優れた世界社会奉仕の例があります。

最近ロンドンでインド司政官にお会いした時のロータリーの国際奉仕活動によって、この5年間に125,000就職口がインドに出来たと推定されていると聞き、全く驚いたのであります。こんなスケールの事業に我々はどうして背を向ける事が出来るでしょうか。ロータリアンが昔も今もまた将来に於ても国際奉仕を通じて各地の生活を向上しつづける事は間違いありません。

以上はカーター次期会長の講演の要旨であります。誠に感銘深く具体的に説いておられます。

そして「我々は賞讃を求めませぬ。それは他の者に与えましょう。しかし1日も早く皆さんが真の完成に到達することを祈りましょう」と望まれております。

この言葉は私を不安に陥しれました。果して真の完成に到達することが出来るでしょうか。勿論それに到達すべく自己研鑽し努力せよという事であると存じます。どうか皆さん、この目標に向って共に肩を組み、手を握り合って努力しようではありませんか。

私はこの講演の中から次の3つの事を汲み取り重点とする事がカーター会長のターゲットを押し進めるものだと判断致しました。

- ① 会員の増強とクラブの拡大。即ち全人類の生活の質の向上せしむる為にはより多くの人々の手助が必要である。
- ② 青少年と共に行動する機会を多くすることによりロータリアン自身を若返らせ、その若さを再に行動に結び付ける。
- ③ 国際理解と世界社会奉仕にアイデアを求める。そうしてロータリーの使命である人類のしあわせと地球の平和をねがう為に努力する。

「若さと行動力である」と申します。又それは真実でもありましょう。更に私は、行動することにより若さは倍増するであろう事も事実であろうと考えます。

「今こそ行動のとき」は「今こそ若返りの時」と受け止めたいと存じます。肉体的年齢は行動することにより若さをよみがえらせてくれるでありましょう。「もう若い人の時代だから」とおっしゃる前に「吾々精神の若人と共に地球の平和の質の向上を求めて進もう」と呼びかけて下さい。人生の深さを身につけた、経験豊かな高令の若人が、若い人々と手を携えて温い親睦の中から活動を見出す時こそ「行動の時」を実行した果実となるのではないのでしょうか。

(地区協議会 第2回目講演から)

小 咄

心臓にわるい

小さな男の子が泣きながら家に帰って来て言った。

「ママ、ジャッキーが池に落ちちゃったの」

ギョッとしたママ「それで大丈夫だったの」と

オロオロして叫んだ。

「ううん、みんなで池からあげて 人工呼吸をしようとしたんだけど

ジャッキーはいやだいやだって、歩いて行っちゃったの」

ロータリーの友6月号ヨリ

社長私塾

経営大鏡
おおかがみ

「鏡」とは「歴史を顧る」の意。
過去に埋もれたチエを映す鏡である。
経営の大鏡。さて――。

義理がらみ

土 岐 雄 三 (作家)

「社長、私は一専務の身にすぎませんが、今日は敢えていわせて頂きます」社長室に入ってきた専務は、身をふるわせるようにして「いかにお身内とは申しながらこんどの副社長のなさり方は、まるで会社を売るようなものではないのでしょうか。創業以来30余年せつかく社長がここまでお楽になりましたこの社を……」

「ま、いい……もういくな」副社長は、いまは亡き社長夫人の義理の弟にあたる。俊敏である反面、社長の意志に反してライバル会社に接近しているという情報や、現社長追い出し策を講じているという噂もあった。「私は卒直に申し上げます。社長は会社のために長年挺身努力されてこられた。謀将だとかげ口をきく連中もありました。企業のためには、非常酷薄な方だという印象も与えてこられた。その社長が……」まるで、平治の乱の直後頼朝兄弟を助命した平相国清盛同様ではないか、と専務はいった。

「むかしなら、お家のためと申すところでしょう。しかし、いまはこの会社のためです。社長が亡くなられた奥さまを憶われるお気持はよく分かります。しかし、そのご縁につながる副社長のなさり方を……」社長は専務のいい分はよく分かる、といった。

社長は仕事の魂といわれた人だ。たしかに彼の会社は、彼が生命をかけて育てあげた生涯の成果だった。商売のためには馬も斬りたくさんの人も斬った。しかし今は仏心が出たというのか、明らかに会社を売ろうとしている副社長を罰することもとがめることも出来ないでいる。彼は元來人を愛し、人に好かれる資質の人間なのかもしれない。

あたかも「十訓抄」で、相国清盛を「心やさしい人」と評したごとく、根は人情味ゆたかな人柄なのだろうか。

清盛は、平治の乱の直後、源家の嫡子頼朝を斬る気でいた。それを継母池の尼に、天折したわが子家盛に似ているからという理由で命乞いをされ、許して伊豆に流したのである。

この事が、のちに平氏滅亡の因になるのだが、これは清盛のもつ「やさしさ」の一面がそうさせたのかもしれない。非情とやさしさは矛盾、接着する。しかし、この矛盾と撞着の中に、清盛の人間があり、彼の成功の要因もあった。

社長は一時副社長の謀略にのったかにみえた。しかし、それはあたかも彼の企業の転換期にも当たっていた。副社長は、社長におさまり、やがてライバル会社と合併した。だが、追放された元社長は平家のように滅びはしなかった。彼は亡妻への義理を果たすと同時に、新規に事業を起こした。

情に弱れたがごとくにみえながら、彼はやはりすぐれた企業家だった。小さいながらも、社長の始めた新たな企業は除々にではあるが業績をのぼしていった。「非情」と「やさしさ」を彼は清盛以上に巧みに使いこなしたいともいえるであろう。

(近代中小企業5月より)

★お知らせノ★★★

- ① 本日 6月13日 (水) 午後6時ヨリ五島軒本店にて本年度最終クラブ・アッセンブリーフォーラムを合せて行ないます。新旧各委員長はもとより、会員

の皆様の多数の出席をお願いします。

- ②各委員会にて提出いただきました活動計画書は（ウイリアム・C.カーター次期会長のターゲット「今こそ行動のとき」再度つめるところもあろうと思えますので、その際は至急手直し再提出いただきたい。
- ③各委員会にて、未決済費用等ある場合至急調理下さいますように。
- ④次期地区協議会開催地は室蘭に決定（ポスト室蘭東R.C.）
- ⑤ロータリー地区大会、岩見沢にて開催です。来る10月6日（土）7日（日）2日間、当クラブより20名は出席したいものです、ご計画下さい。
- ⑥各委員長は活動計画に対する「活動報告」を至急提出下さい。

★理事会審議事項！

合同事務局備品、新形復写機購入代金各クラブにて均等に負担の件。
亀田R.C.との合併問題の話は多々問題ありとし再度考える。

◎出席報告

	会員数	出席人数	欠席人数	他クラブ出席人数	出席率(%)
48. 6. 6	55名	42名	13名		
48. 5. 30	55名	43名	12名	10名	96.23%
在函クラブ	(5/24) 函館R.C. 92.56%	(5/22) 函館東R.C. 97.83%	(5/25) 函館五稜郭R.C. 100%		

次回例会日 6月20日

- プログラム 会員卓話「俣野純夫会員のお話」
- プログラム 6月27日「会長幹事、各委員長退任挨拶」
- プログラム 7月4日「会長幹事、各委員長就任挨拶」
- プログラム 予定 7月11日 会員卓話「最近の石油事情」 山内 文雄会員
- プログラム 予定 7月18日 会員卓話「下郡山会員のお話」

(ヨシイ)

The Weekly Report of Hakodate North R.C.

事務所 函館市大手町5-10 例会場 函館市大手町5-10
 日魯ビル3階 国際ホテル TEL (0138) 23-8751
 ☎.(0138) 23-3870 例会日 毎週水曜日 12:30-13:30



1973. 6. 20

1972~1973 第49号

第453回例会

Let's take a new look もう一度見直そう
(Roy D. Hickman R.I. 会長指針)



(深瀬鴻一郎会員)

本日のプログラム

卓話「ロザンヌ大会と西欧の旅」

俣野 純夫 会員

第452回例会記録

- ◎司会 市川 芳夫 会長
- ◎ゲスト 函館R.C. 梅津 佐助君 他7名
函館東R.C. 森岡 勝君 他2名
函館(五)R.C. 花田 雅宏君 他1名
- ◎斉唱 手に手つないで

◎会長報告
本日(6月13日)午後6時より五島軒本店にて本年度最終クラブ・アッセンブリーフォーラムを開催致します。会員の皆様の多数の出席をお願いします。

- ◎親睦活動委員会
- ★ニコニコボックス報告
 - ・入会記念～山内会員、杉本会員、戸栗会員、青柳会員、神原会員、成田会員
 - ・結婚記念～杉本会員、大島会員、深瀬会員
 - ・ゴルフ大会で優勝～駒井会員、本間会員